

職務経歴書

2009年12月23日現在

馬場 貴大

■ 職務経歴

- 2003年4月1日 新日鉄ソリューションズ株式会社 入社
2003年7月7日 システム研究開発センター ソフトウェアシステム研究部 配属
2007年7月31日 新日鉄ソリューションズ株式会社 退社
2008年1月15日 People to People Communications 株式会社 設立、代表取締役 就任
現在に至る

■ 業務内容

新日鉄ソリューションズ株式会社 2003年4月～2007年7月（4年3ヶ月勤務）

- 【会社区分】 東証1部上場 【業種】 システムインテグレーター
【従業員数】 2,243名(単独) 【雇用形態】 正社員
【URL】 <http://www.ns-sol.co.jp/>

社内向けシステムの開発プロジェクト（2004年1月～2007年7月）

（秘密保持契約を締結しているため、一部、詳細に述べる事ができないことをご了承ください。）

- ・ 『システム開発プロジェクトのための、開発支援ツール・プロジェクトマネジメント支援ツール・コミュニケーション支援ツールを統合した開発環境』の開発プロジェクトに参画
- ・ アプリケーション開発、運用設計、プロマネ補佐、企画、検証、普及促進を担当

1. Web アプリケーションの開発

- プロジェクトマネジメント支援ツールの1つであるWebアプリケーションを開発
- 2名のチームのチームリーダを担当
- 約3万step、30画面のアプリケーションを、3ヶ月で設計・実装を完了

2. ユーザマスタ・アクセスコントロール基盤の開発

- ユーザマスタ(システムの利用者を管理するアプリケーション)と、システム全体のアクセスコントロールを管理・統括するアプリケーション、および、運用のためのWeb画面を制作
- 約3万step、20画面のアプリケーションを、1名3.5ヶ月で設計・実装を完了

3. プロジェクトマネジメント補佐（2005年4月～2007年3月）

- アプリケーション開発チーム(約10名)のチームリーダとして、進捗管理、コミュニケーション管理、問題管理を担当した
- システム全体で約80万stepのアプリケーションの運用方針・運用手順の策定、運用業務の外部委託の検討を行った
- メンバーの特性として、複数の業務を兼務する人が多かったため、朝のミーティングを短時間で効率的に実施したり、毎日欠かさず議事録を配信したり、wikiを活用して情報共有を図るなど、コミュニケーション管理に注力した

【従業員数】 1名

【URL】 <http://www.ptpc.co.jp/>個人情報漏洩対策用データの販売・データ生成ソフトウェアの販売 (2008年1月～)

- ・ 個人情報漏洩事件が多数発生し、個人情報保護が社会的に求められる中、漏洩防止を目的としたデータ『疑似個人情報』、およびデータ生成ソフトウェア『疑似個人情報ジェネレータ』を制作し、販売した。
- ・ 限られた資金の中で、最大限の宣伝効果を求め、プレスリリースの積極的な活用と、Webサイトの利便性向上に勤めた。その結果、朝日新聞社、時事通信社、日経BP社、ITmedia、インプレス等の大手メディアから取材を受けたり、記事として掲載される等の成果を挙げた。
- ・ しかしながら、黒字化には至っていない。
- ・ 『良い物が売れるわけではない』という言葉の実際上の意味を、実体験として得られたのが最大の収穫である。すなわち、以下2点の経験である。
 1. 日本の企業間取引における保守的な商習慣を実際に体験した
 2. 資本力がなければ切り開けない局面を実際に体験した

■ 取得資格等

2000年6月30日 通商産業省 情報処理技術者試験 第一種情報処理技術者 合格
2003年1月10日 経済産業省 情報処理技術者試験 セキュリティアドミニストレータ 合格
2004年6月21日 経済産業省 情報処理技術者試験 テクニカルエンジニア(データベース) 合格
2005年12月15日 経済産業省 情報処理技術者試験 プロジェクトマネージャ 合格

■ 得意分野／スキル

- ・ Webアプリケーションの制作(短期間での設計・実装)
- ・ プロジェクトマネジメント業務

■ 自己PR

SEとして勤めておりました会社では、配属以後、社内向けシステム(システム開発業務のためのシステム)の開発に携わっていました。限られた予算の中で、常に短期間で最大限の開発成果を求められましたが、私はその要望に応じてまいりました。短期間でのシステム開発を支えてきたのは、単に実装スキルが優れているだけでなく、学習能力の高さと、最後まで諦めない粘り強さであると自負しております。

また、同プロジェクトのプロジェクトマネジメント補佐として、2年半、アプリケーション開発チームリーダーとして、進捗管理、コミュニケーション管理、問題管理を行った経験があります。進捗が遅れがちなプロジェクトで、かつ、チームメンバー全員が私よりスキルと経験のある先輩であるという状況で、コミュニケーション管理を軸に問題解決に当たりました。

起業した後は、ソフトウェアの商品開発から経営に至るまで、全ての業務において、最大の費用対効果を得るため取捨選択しつつも、妥協してはいけない点は堅持するという経験を積み重ねて参りました。これらのスキルや経験を、御社のために役立てることができれば幸いです。

以 上